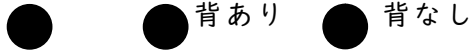


★ステージ配置図の書き方について★

次の要領で配置図に記入をお願い致します。

- ① 図中で譜面台は×、椅子は○、ピアノ椅子(コントラバス椅子)は●で記入してください。
(コントラバス椅子は持ち込みのみです)
- ② ホールのピアノ椅子を管楽器で使用する際は、背のある椅子か無い椅子かを明記してください。
(明記のない場合は「背のある椅子」を用意します。また会館によっては用意できない場合や数が足りない場合もあります。)

ホールの椅子を借りるとき



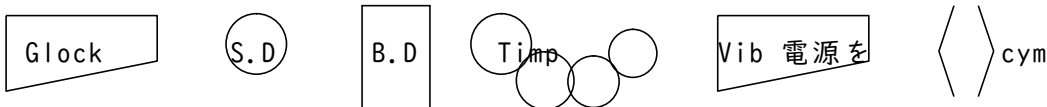
● 背あり ● 背なし

団体に持ち込むとき



● 持

- ③ 打楽器は簡単なスケッチ内に名称を書いてください。



また、配置図内の指定箇所に使用する共用打楽器に○を付けてください。

- ④ ピアノを使用する団体は、ピアノの向きと、開け方を指示してください。
(ピアノはセンターより上手側で使用してください。向きは変えることができます。)



半開

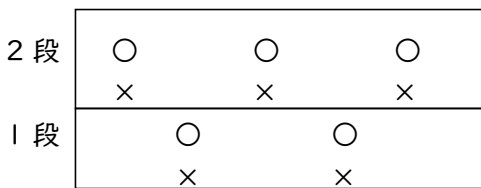


全開

ピアノを使う団体は実線で向きを指示し、開き方の指示を添える。
ピアノを使わない団体は何も書かない。※撤去はしません。

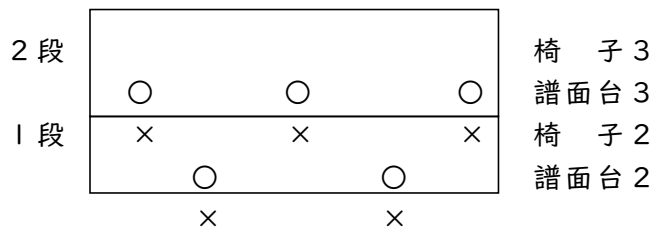
- ⑤ ひな壇上の譜面台は、図のとおり設置しますので、正しくお書きください。

演奏者と同じ段に譜面台がある



こちらが基本形です。

演奏者の下の段に譜面台がある



椅子3
譜面台3
椅子2
譜面台2

段が異なっても数は段に含まれるように書いてください。

- ⑥ 図はわかりやすく丁寧に書いてください。
みなとみらいホールのひな壇は弧を描いています。弧に沿ってセッティングするか、直線にセッティングするのも明確に書いてください。
提出された配置図にしたがいセッティングをします。図にないセッティングを要求する団体がまれにありますので、良く確認してからご提出ください。要望があれば要望欄に書いてください。

- ⑦ 配置表のイス数はピアノ椅子、持ち込み椅子を含みません。